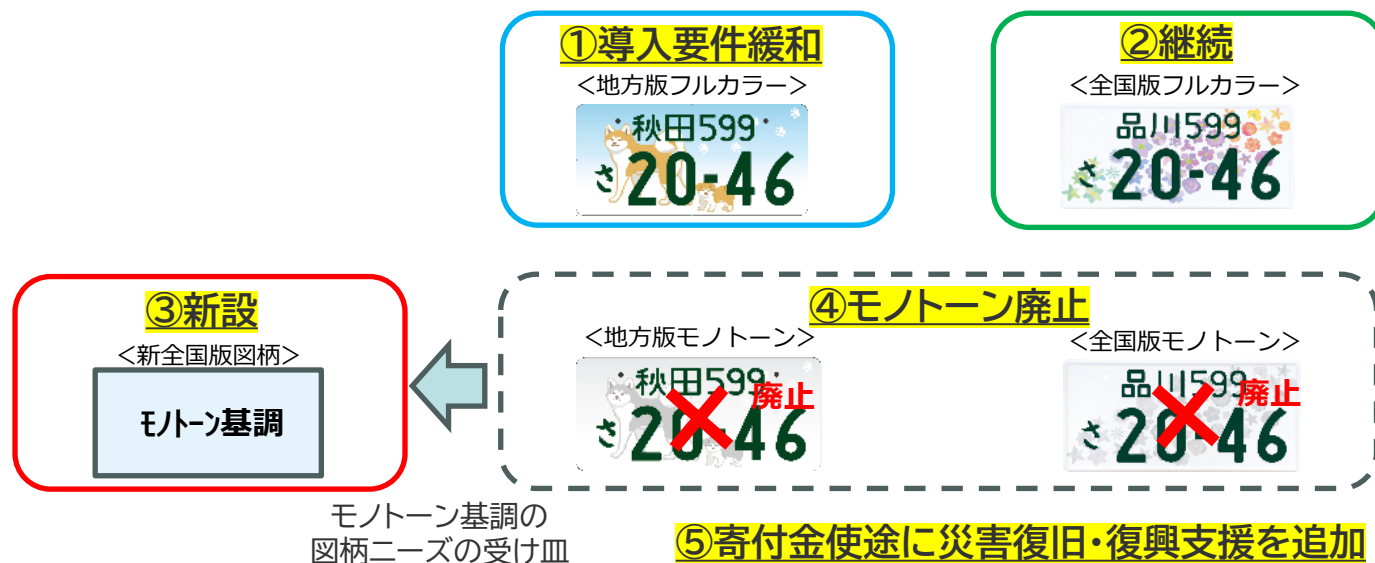


中間取りまとめ(概要)

これまでの経緯

- 令和6年7月に「図柄入りナンバープレート等に関する検討会」を創設し、図柄ナンバープレート、ご当地ナンバー等に係る課題や今後の方向性について6回にわたり議論。

中間取りまとめにおける決定事項



今後の検討課題

- 他地域の図柄の交付を可能とする「図柄ナンバープレート(ふるさと版)(仮称)」の創設に向け、供給者側の課題解決及び導入自治体の要件を検討。
- 人気がある希望ナンバーの新たな取得方法について検討。

検討の方向性

- ユーザーの選択肢の増加・維持(ユーザー目線)
- 制度の持続性の確保(供給者目線)
- 寄付金収入の増加(地域目線)



3つを並立する方向を
模索したい。

ユーザーの選択肢の増加・維持 寄付金収入の増加

- 単独市区町村の図柄ナンバー(地方版)
導入に伴うご当地ナンバー導入の要件緩和

登録車保有台数:10万台→7万台

又は

登録車+軽自動車保有台数:17万台→12万台



制度の持続性の確保

- 図柄ナンバー(地方版モノトーン)(寄
付無し)の廃止

(ご当地ナンバーを増やす中で、2種類
提供の維持は供給者負担が過大である
ため、負担を軽減する。)

- 図柄ナンバー(全国版)モノトーン基調図柄
の追加

(モノトーンを前提にデザインされた図柄の選
択肢を増やす。)



- 図柄ナンバー(全国版モノトーン)(寄
付無し)の廃止

図柄ナンバープレートの導入スケジュール(中間取りまとめ)

